

令和6年度 大分県がん診療連携協議会 PDCAサイクルの情報共有・相互評価シート

病院名		番号
大分大学医学部附属病院		5
分類 (別紙より該当を選択)	5 相談支援及び情報の収集提供 (3)情報提供・普及啓発 ①自施設で対応できるがんの広報 ②がん医療圏内のがん診療に関する情報の広報 (1)がん相談支援センター ③院内外の相談に対応する体制の整備	
計画事項(P)	希少がんの診療体制の整備、相談対応体制の整備として以下に取り組む 1. 希少がんの定義・種類を確認し、院内の診療体制の現状把握を行う 2. 院内での受け入れ体制の取り決めに策定する 3. 当院の受け入れ体制を県内医療機関に周知案内し、連携を進める 4. 九州・沖縄・山口における希少がん診療連携に関する会議(希少がん診療連携ネットワーク)で情報共有を行う	
実施状況(D)	1. 公開されているWebサイトから、希少がんの定義や種類について情報収集した。腫瘍センター会議で提案後、院内の診療体制についてアンケート調査を実施した。22診療科より回答が得られ、20診療科、約90種類のがん種で当院で受け入れ対応可能であることを把握できた。 2. 医療機関、患者・家族等からの相談時は、がん相談支援センターから各診療科に確認する体制とした。 3. 今後、当院で受け入れ可能ながん種等を病院ホームページに掲載し、県内医療機関に周知案内予定。 4. 令和7年2月の九州・沖縄・山口における希少がん診療連携に関する会議(希少がん診療連携ネットワーク)にて、腫瘍センター長が活動報告を行った。	
評価(C)	院内全体でアンケート調査を実施し、現状把握を行うことができた。また、院内の連携体制を構築できたため、今後の相談体制に活かすことができると評価する。県内医療機関への周知案内については、年度内に実施できなかったが、近日中に実施予定とする。	
改善(A)	ホームページへの掲載は今後実施予定であるが、概ねの取り組みが終了したため、本取り組みは終了とする。	
備考	継続	
	終了	